

授業科目名(英文名) /Course Title	地域看護方法論Ⅱ/Methodology in Community Nursing Ⅱ		
担当教員(所属)/Instructor	田村 須賀子(医学部), 高倉 恭子(医学部)		
授業科目区分/Category	専門教育科目 看護学		
COC+科目/COC+Course	-	授業種別/Type of class	講義科目
開講学期期限/Period	2019年度/Academic Year 前期・火曜3限 後期・火曜3限	対象所属/Eligible Faculty	看護学科
時間割コード/Registration Code	154550	対象学年/Eligible grade	3年
ナンバリングコード/Numbering Code	M2850530400	単位数/Credits	2単位
オフィスアワー(自由質問時間) /Office hours	田村 須賀子【前期】火曜日 11:00-13:00、金曜日 11:00-13:00 【後期】水曜日 11:00-13:00、金曜日 11:00-13:00 ただし、不在の時間があるのでメールにて事前連絡をしてください。高倉 恭子(高倉 恭子)		
リアルタイム・アドバイス/Real-time advice	更新日		
授業中の指名はしませんが、講義の最後に学んだこと、大事だと思ったこと、理解しにくかったことを書いてもらいます。書いてくださったことについては、次回以降の講義・演習に反映させますので、ご自分の意見として明確に記載してください。			
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学習目標)/Course Objective			
公衆衛生の理念に基づき、住民の家庭・地域社会生活の場において提供するとともに、地域看護援助方法を理解し、援助提供の場に応じた看護職の役割・機能を学習する。 地方自治体の保健師業務に従事し、対人保健予防活動に携わった経験を持つ教員が、保健指導論、家庭訪問、健康相談・健康教育、住民グループ支援について講義し、展開方法について指導する。			
達成目標/Course Goals			
①保健指導の目的と、看護の相談的対応の技術と教育的対応の技術を理解する。 ②地区住民と共に展開する地域看護活動の目的と方法を理解する。 ③家庭訪問援助の目的、方法を理解する。 ④家庭訪問援助における看護過程が展開できる。 ⑤健康教育による、住民集団に向けた看護援助の目的、方法を理解する。 ⑥住民集団の健康課題に対応する健康教育の企画ができる			
授業計画(授業の形式、スケジュール等)/Class schedule			
1回 地域看護の特徴 2-5回 保健指導 6-7回 地域組織活動 8-13回 家庭訪問 14-19回 健康教育 20-21回 大規模災害時の保健師活動 22回 まとめ			
授業時間外学修(事前・事後学修)/Independent Study Outside of Class			
自己学習課題として、公衆衛生看護の倫理が <a href="https://lms.u-toyama.ac.jp/login/index.php">https://lms.u-toyama.ac.jp/login/index.php</a> に置いてあります。WEB フォーラムへの参加と課題提出してください。 講義で使用したスライド、紹介した参考文献も、 <a href="https://lms.u-toyama.ac.jp/login/index.php">https://lms.u-toyama.ac.jp/login/index.php</a> に置いてあります。自己学習に活用してください。			
キーワード/Keywords			
保健指導・地域組織活動・家庭訪問・健康教育・大規模災害 実務経験教員科目			
履修上の注意/Notices			
講義・演習において教員が示すものにこだわらない、広い視野と柔軟な発想・思考をもって臨まれたい。教員も共に気づき、看護援助について考える機会にしたい。なお、ここで学ぶ内容は地域看護学実習に応用される。また保健師国家試験においても重視されている。			
教科書・参考書等/Textbooks			
教科書：宮崎美砂子他編:最新公衆衛生看護学 第3版総論(日本看護協会出版会)2019.定価4,700円 宮崎美砂子他編:最新公衆衛生看護学 第3版各論2(日本看護協会出版会)2019.定価3,700円 参考書：第4版公衆衛生看護学.jp(インターメディカル)定価4,400円 牛尾裕子他編:ワークブック地域/公衆衛生看護活動事例演習.クオリティケア2019.定価2,600円 保健師業務要覧第3版(日本看護協会出版会)、公衆衛生マニュアル(南山堂)			
成績評価の方法/Evaluation			
評価に対するすべての目標の寄与率は同等です。 定期試験(60%)、課題レポート(30%)、授業参加状況の出席票による評価(10%)、WEB フォーラム参加・課題提出(10点を上限に加算)			
関連科目/Related course			
地域看護学総論 地域看護学実習 在宅看護論 在宅看護実習			
リンク先 URL/URL of syllabus or other information			
U.ToyamaMoodle 3 : <a href="https://lms.u-toyama.ac.jp/login/index.php">https://lms.u-toyama.ac.jp/login/index.php</a>			
備考/Notes			